

2006年3月期中間決算説明会

工業用マシン好調持続。営業利益 2.8%増

2005年12月2日

JUK 株式会社

取締役社長 中村 和之

Mind & Technology

JUKI
Mind & Technology

目次

第1部 06/3期 (05年度)上期業績

- 1. 06/3期 (05年度)上期業績 3
- 2. 主要財務指標推移 5
- 3. キャッシュフロー推移 7

第3部 06/3期 (05年度)通期業績予想

- 1. 06/3期 (05年度)通期業績予想 22
- 2. セグメント別業績予想 23

第2部 セグメント別業績と事業動向

- 1. セグメント別業績 9
- 2. 工業用マシン事業 11
- 3. 産業機器事業 14
- 4. 家庭用マシン事業 17
- 5. 電子・精密機器事業 19
- 6. その他事業 20

第1部

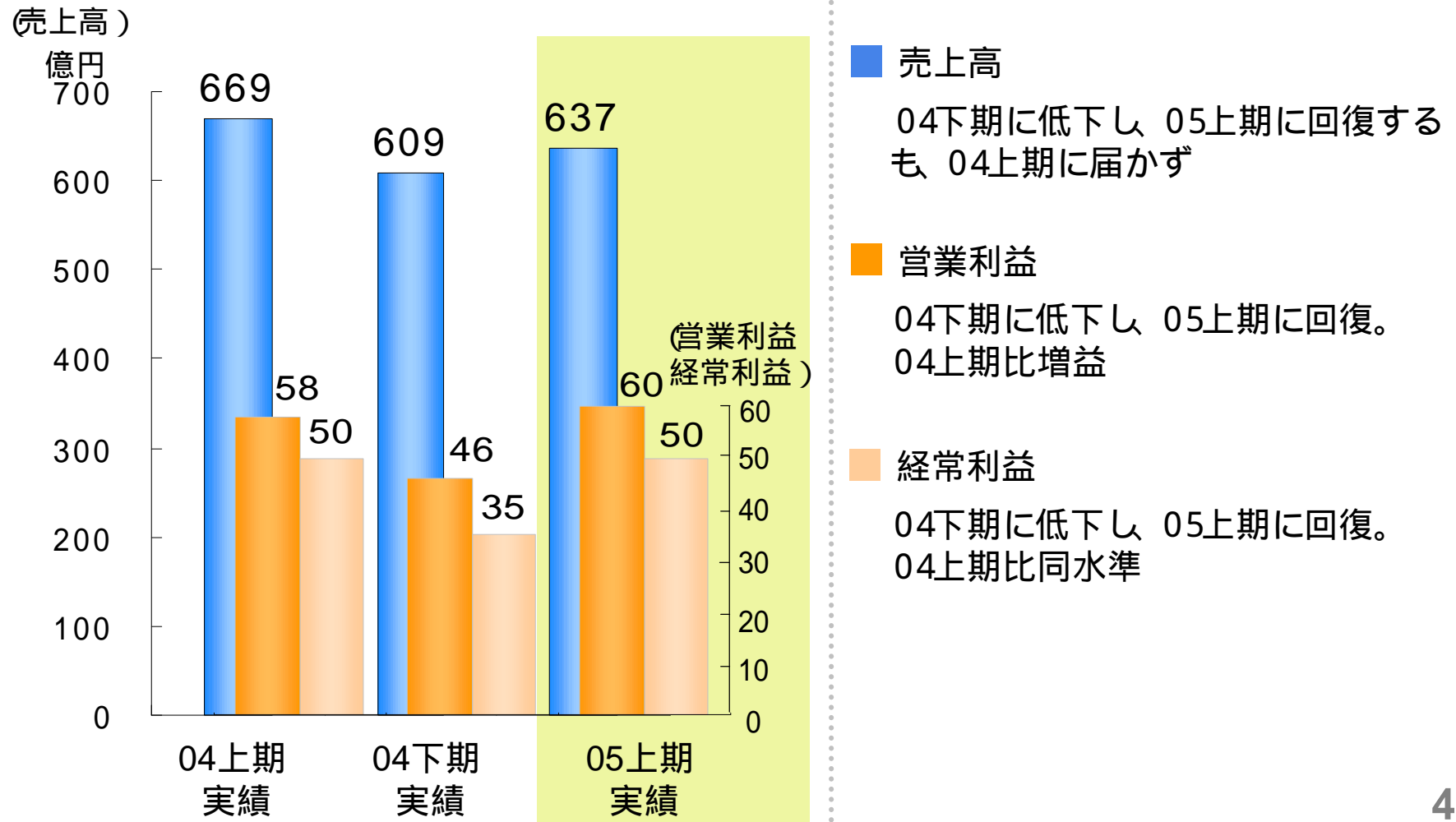
06/3期 (05年度)上期業績

04上期に比べ4.7%の減収ながら、営業利益は2.8%増。
経常利益は67百万円減、当期純利益は1,065百万円増

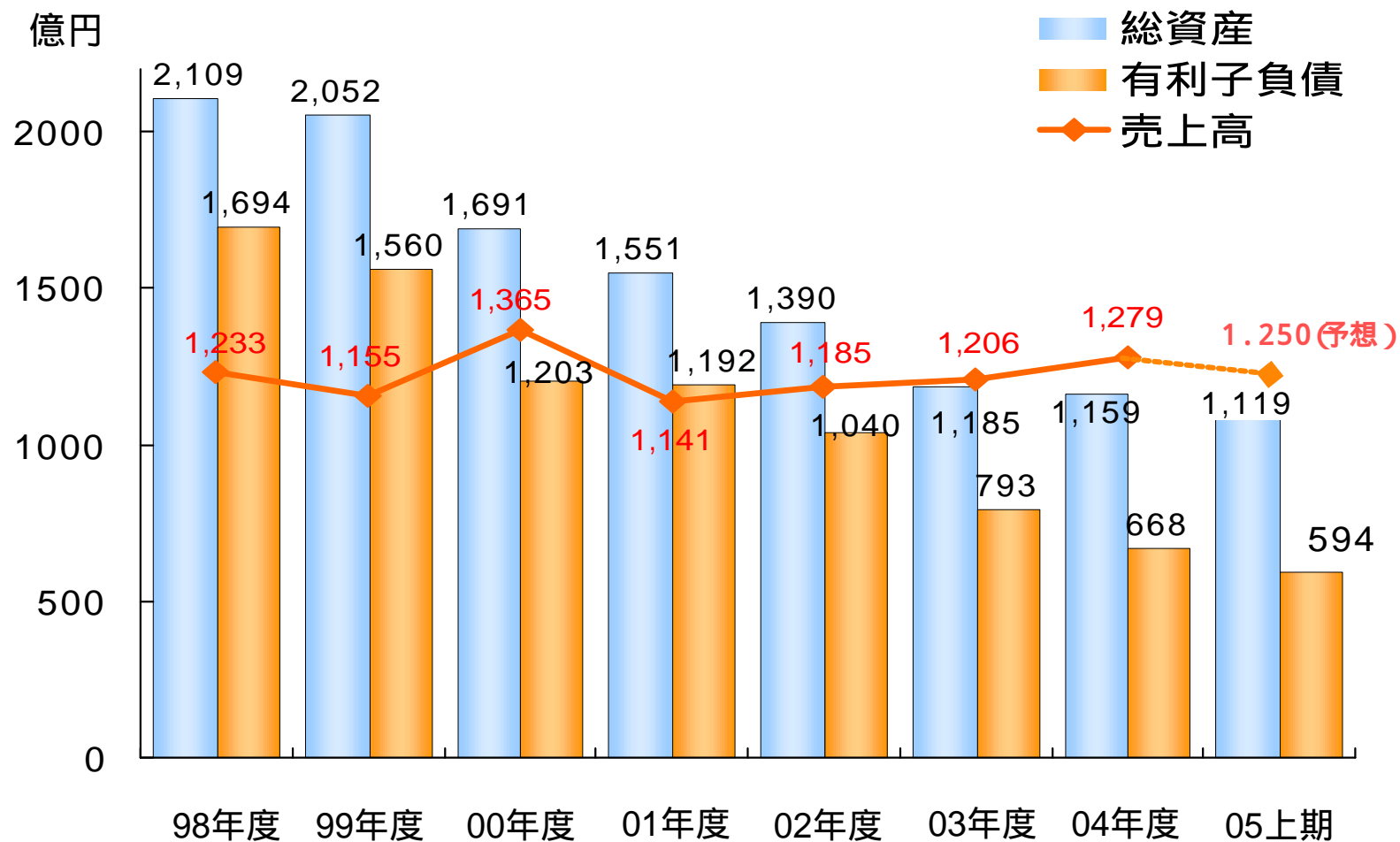
単位:百万円

	04上期 実績	04下期 実績	05上期 実績	04上期比 増減	04下期比 増減
売上高	66,962	60,987	63,798	3,164	2,811
営業利益	5,829	4,612	5,995	166	1,383
経常利益	5,079	3,567	5,012	67	1,445
当期純利益	1,904	3,619	2,969	1,065	650

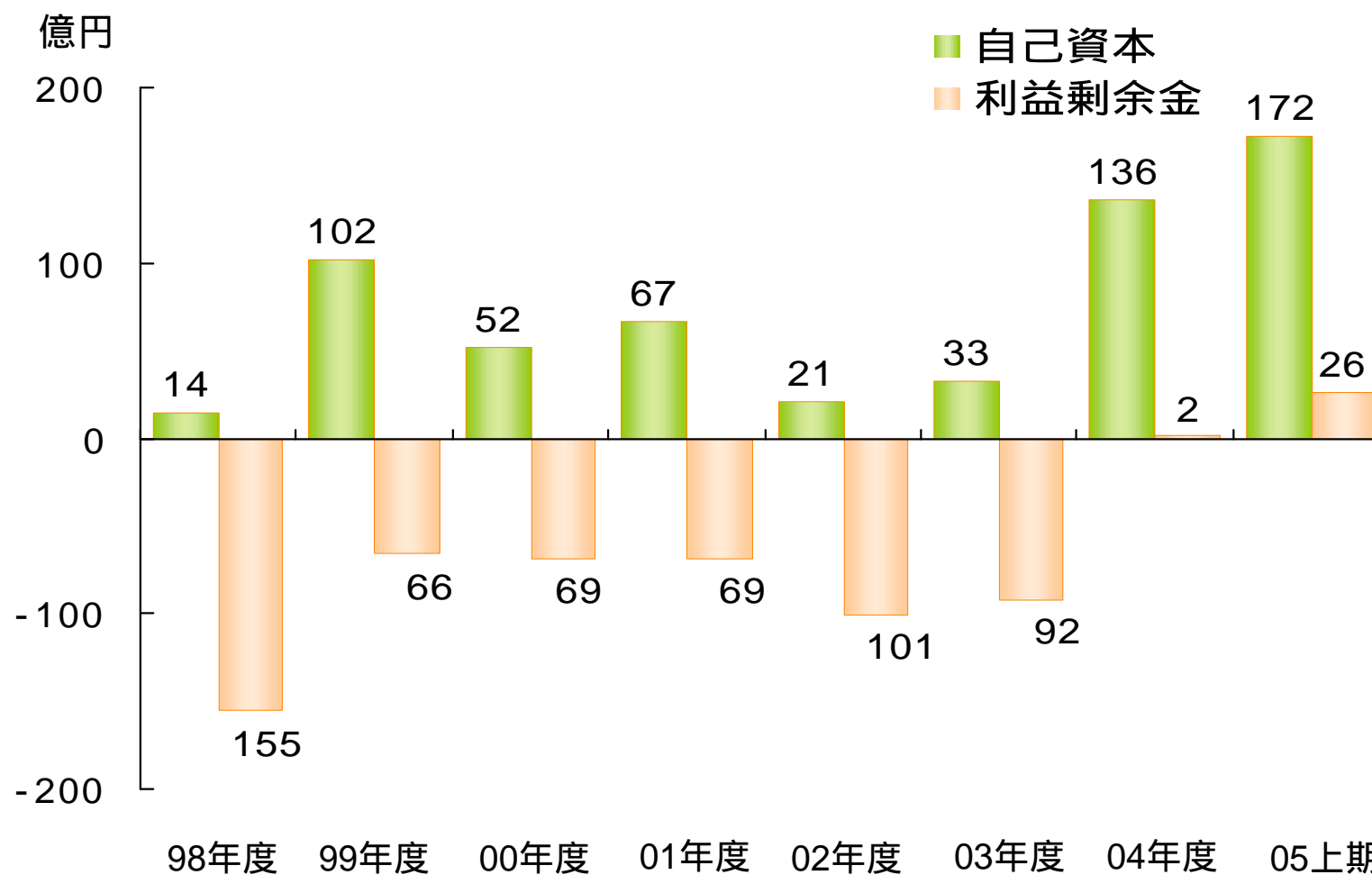
04下期に低下したが、売上高・営業利益とも回復した



総資産・有利子負債が減少し バランスシートが改善

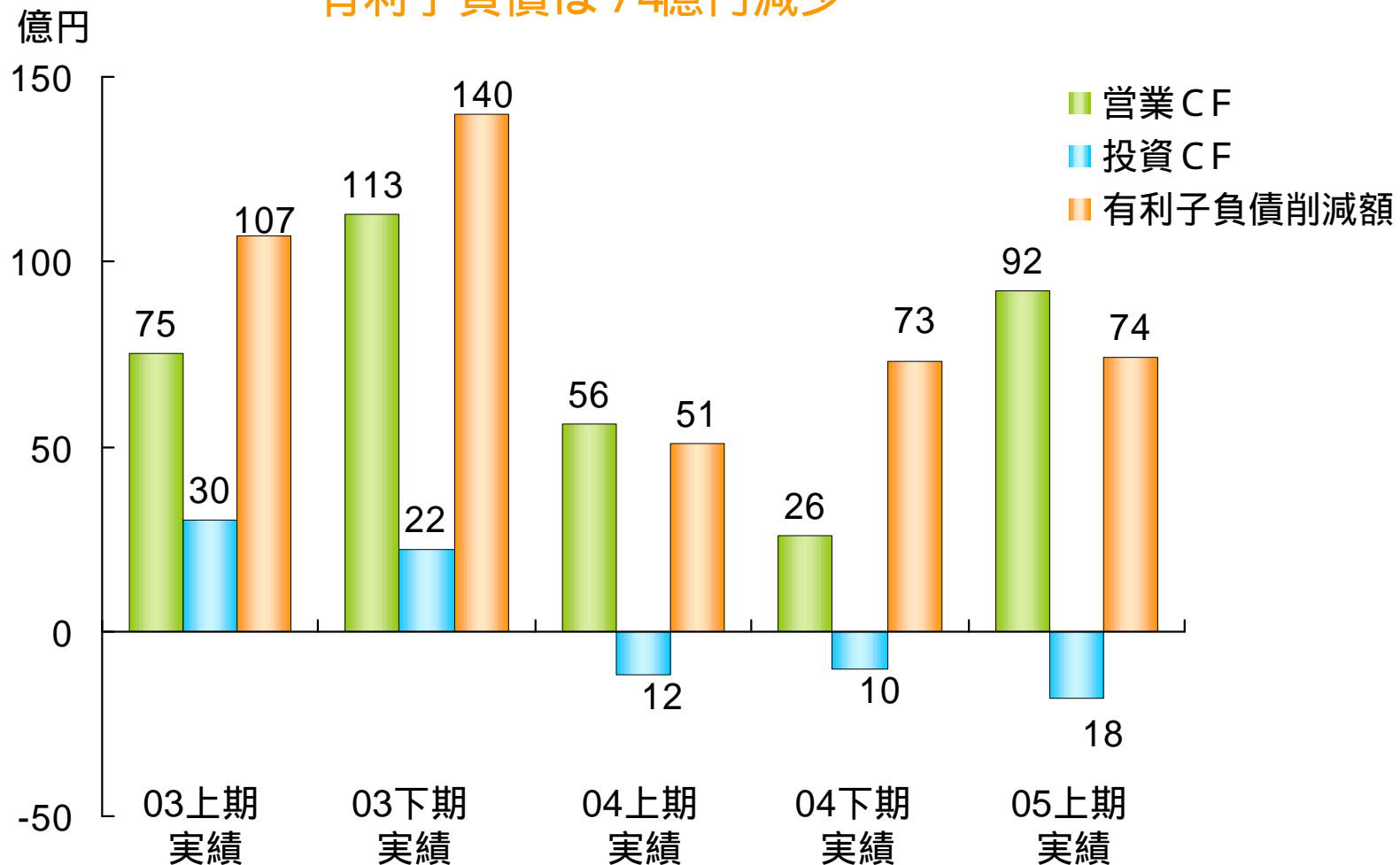


04年度に累積損失を一掃。自己資本が増加



05上期 営業キャッシュフロー 92億円を確保

有利子負債は74億円減少



第2部

セグメント別業績と事業動向

工業用マシンは増収続く。他は04上期比減収。04下期比では全セグメントで増収

単位：百万円

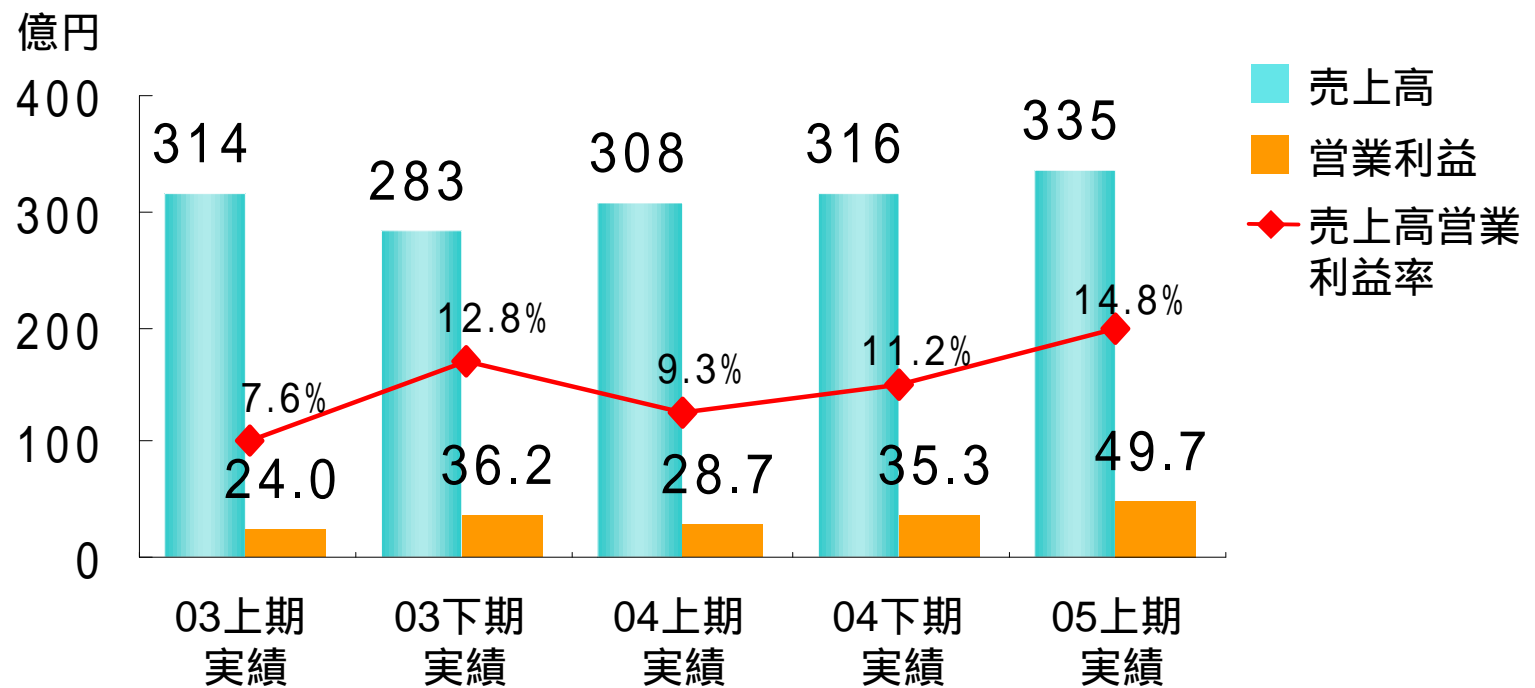
	04上期	04下期	05上期	04上期比 増減	04下期比 増減
工業用マシン	30,765	31,578	33,542	2,777	1,964
産業機器	12,686	9,882	10,838	1,848	956
家庭用マシン	6,823	5,722	5,755	1,068	33
電子・精密機器	8,875	5,837	7,116	1,759	1,279
その他	7,811	7,968	6,544	1,267	1,424
売上高合計	66,962	60,987	63,798	3,164	2,811

工業用マシンは2期連続増益。家庭用マシンは連続して減益

単位：百万円

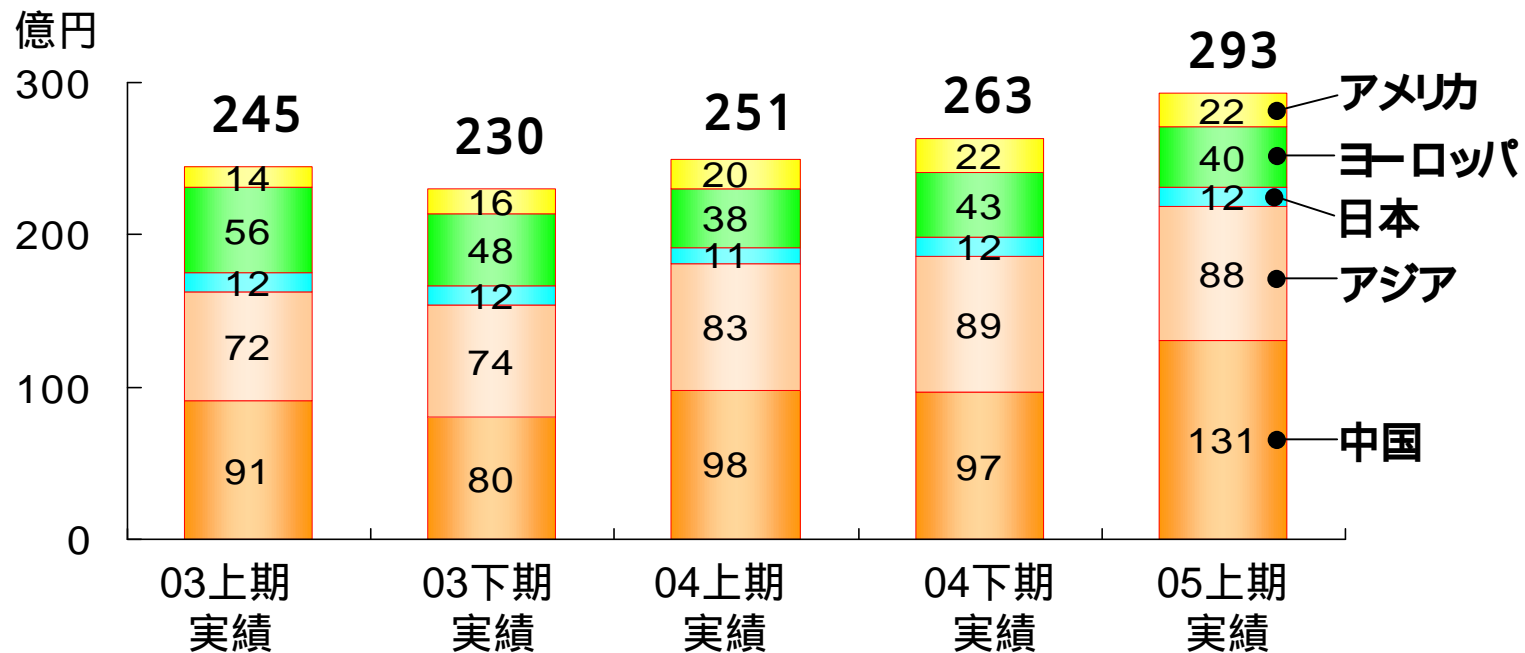
	04上期	04下期	05上期	04上期比 増減	04下期比 増減
工業用マシン	2,866	3,528	4,972	2,106	1,444
産業機器	1,037	59	452	585	393
家庭用マシン	496	169	119	377	50
電子・精密機器	1,085	649	794	291	145
その他	1,019	374	287	732	87
(消去)	675	167	630	45	463
営業利益合計	5,829	4,612	5,995	166	1,383

売上高・営業利益とも順調に増加



高付加価値製品の販売増により 営業利益率も改善

中国、アジアを中心に売上高増加 (*売上高は部品等を除く)



05上期はクォータ制撤廃 (05/1月) と旧正月需要により、中国での売上高が大幅に増加

製品開発を推進し、他社との差別化を強化

アパレル分野



AMS 210E

ラベル・ワッペン・ネーム付け等において、縫製から糸切りまでのサイクルタイムを大幅に短縮した糸切りミシン

ニット分野



MO 6700D

スポーツウエアや肌着等ニット製品の縫製において、油汚れによる不良品発生をなくしたセミドライヘッドロックミシン

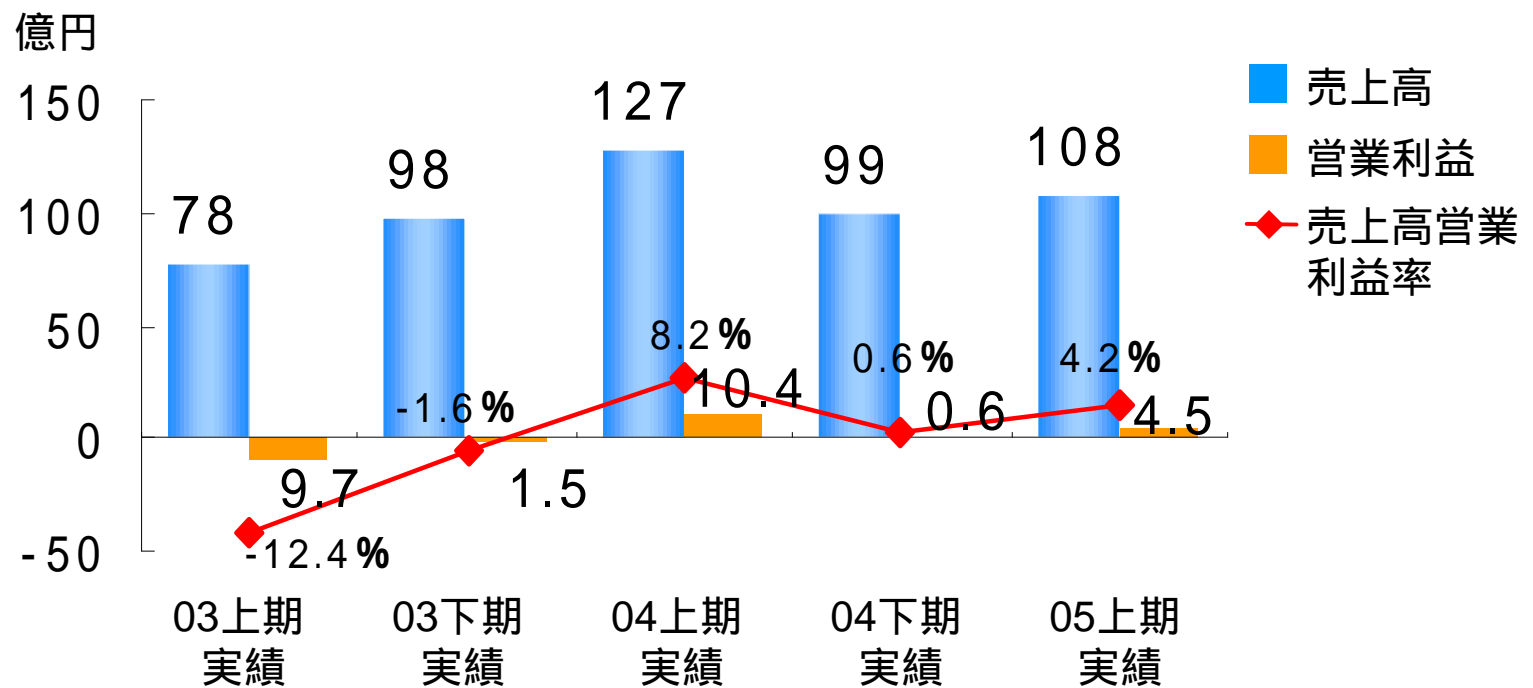
皮革厚物分野



LU 2212N7

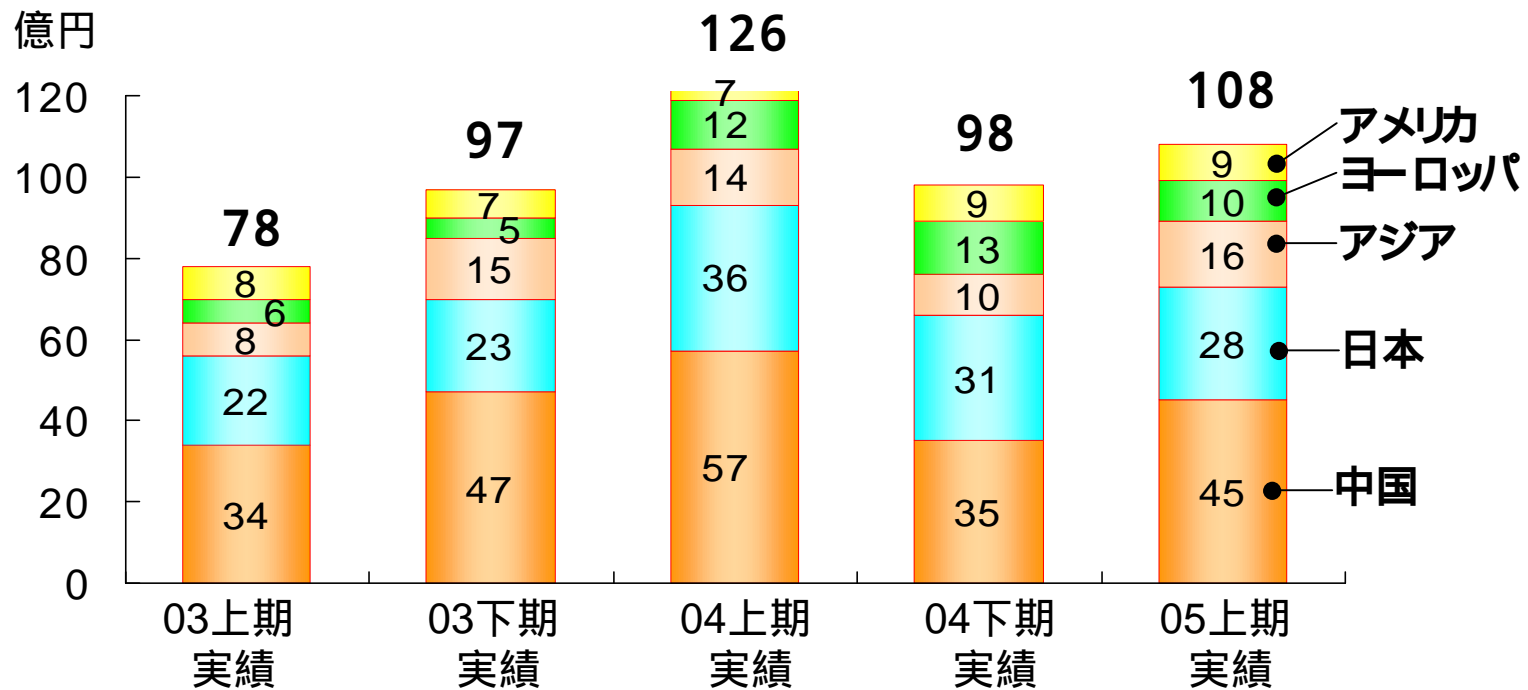
自動車シート、ソファ等皮革厚物の縫製に幅広く対応した自動糸切りミシン

売上高・営業利益とも改善したが、04上期には届かず



04上期以降黒字体質が定着

中国・アジアの回復をテコに、売上高は100億円台を回復



04下期比売上増となったが、全ての地域で04上期には届かず

汎用プレサ CX 1 (10月から発売開始)



半導体製造装置

半導体部品 (ベアチップ)



プレサ
CX 1

マウンタ

表面実装部品



【CX - 1の特徴】

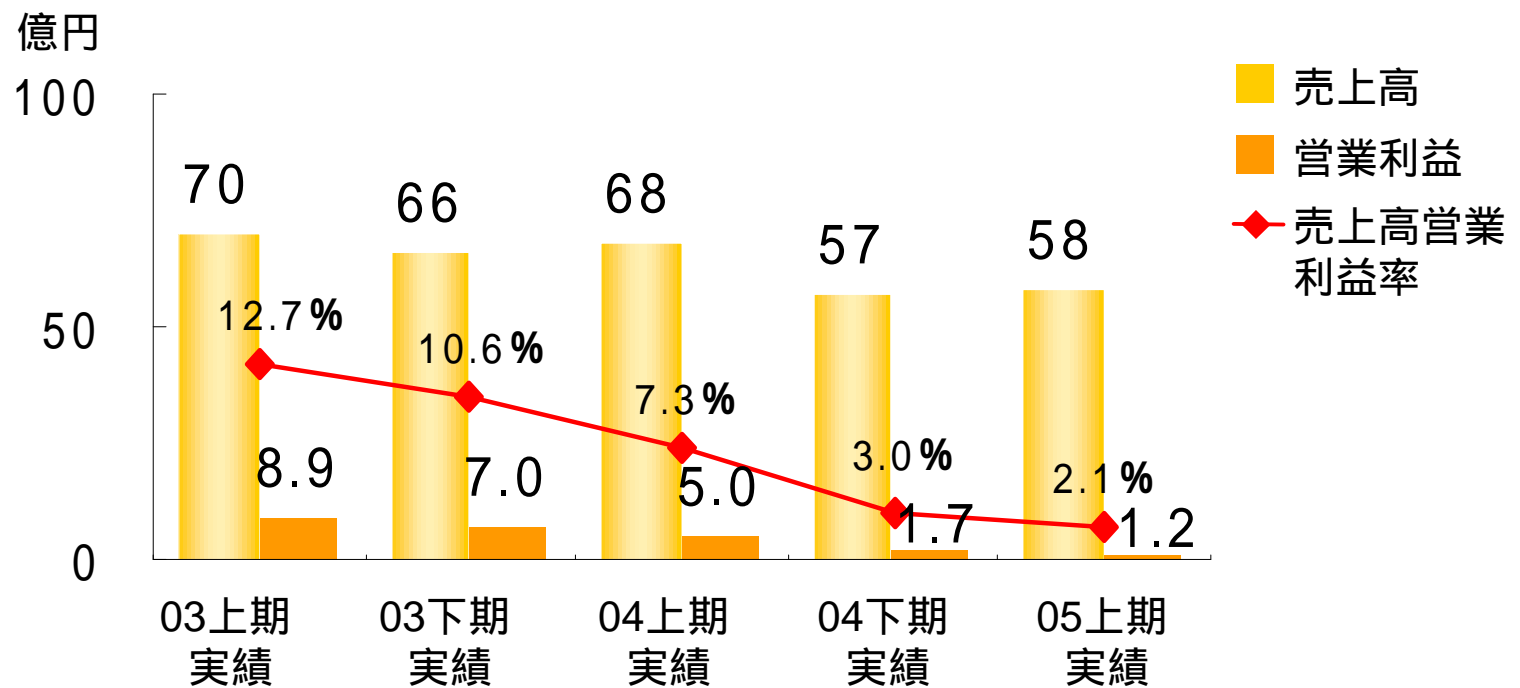
【混載が可能】

CX 1は、通常環境で半導体部品と表面実装部品の実装を、1台で同時に行える

【汎用性が高い】

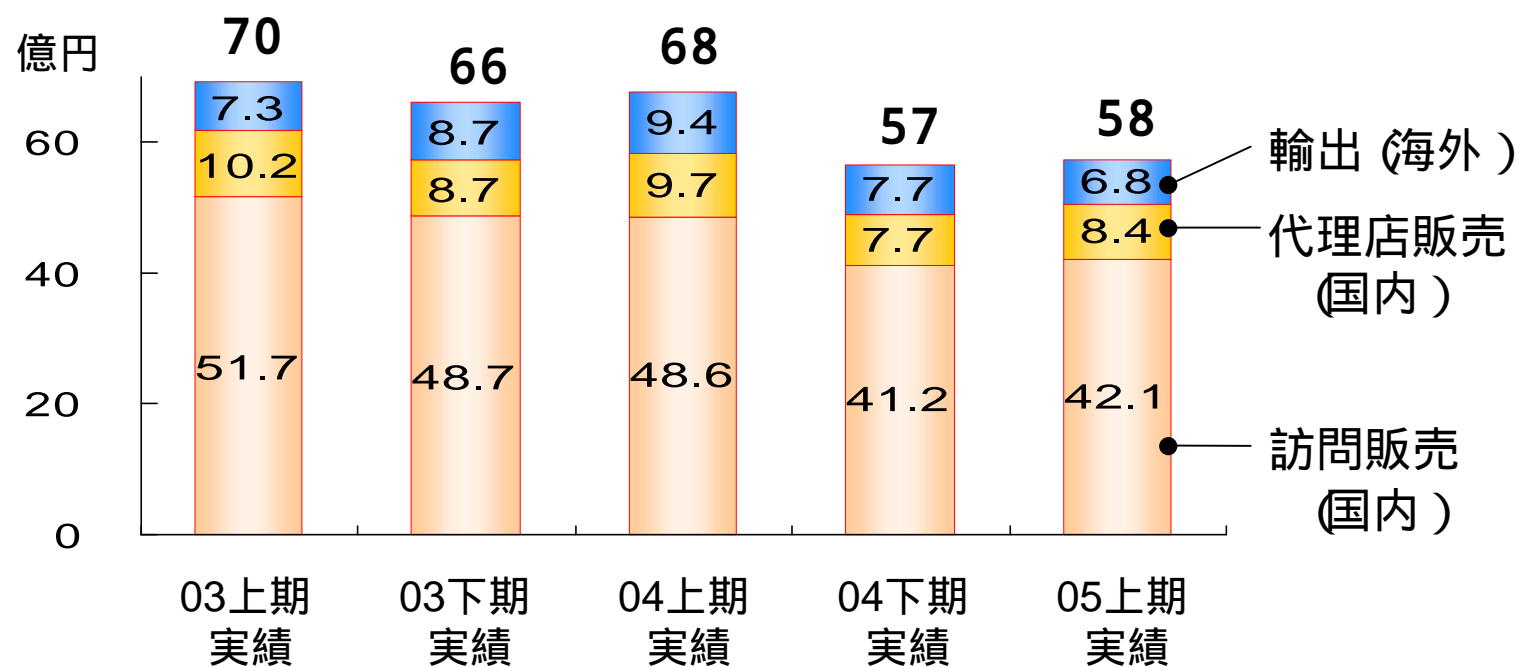
ベアチップを搭載しない場合は、マウンタとして使用できる

営業利益は減少傾向が続いている



05上期の売上高は04下期比微増となったが、営業利益の減少が続いている

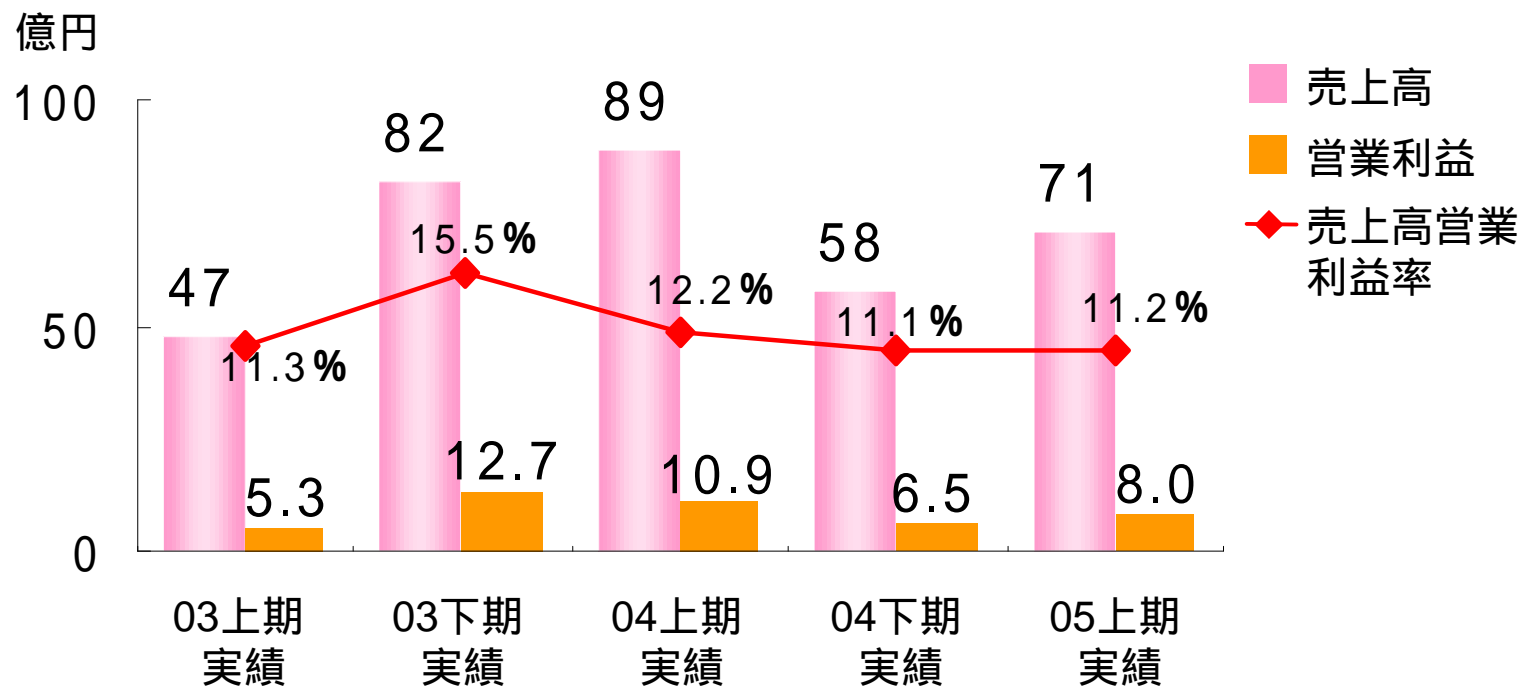
国内訪問販売は低迷



【訪問販売事業低迷の要因】

・訪問販売事業を取りまく環境の変化

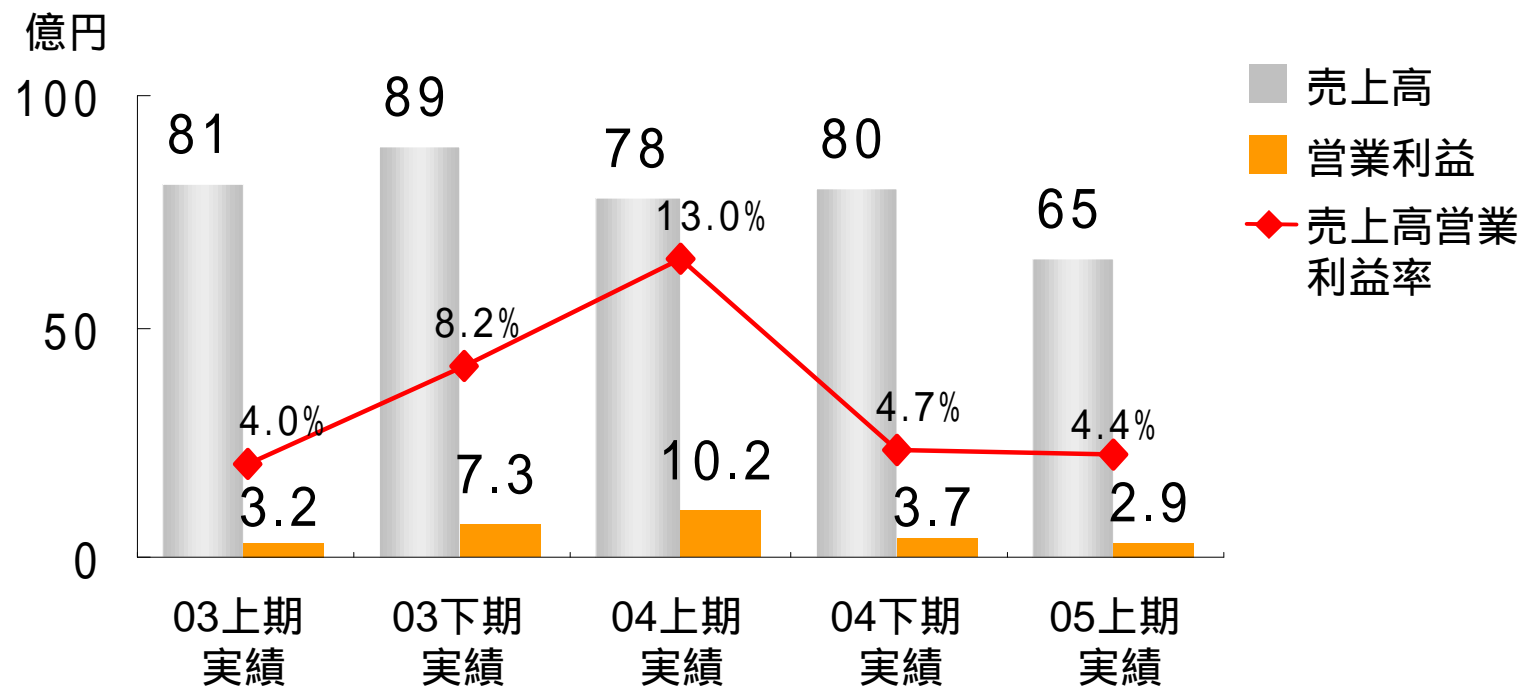
04下期比回復したが、04上期には届かず



03下期、04上期には特需により売上高が増加。

04下期は減収、減益となるも、05上期に再び回復し増収、増益

特需剥落等により売上高・営業利益とも減少



第3部

06/3期 (05年度)通期業績予想

8/4の修正値を維持

単位 :百万円

	04年度 実績	8/4予想	05年度 通期予想	前年比増減
売上高	127,949	125,000	125,000	2,949
営業利益	10,441	11,000	11,000	559
経常利益	8,646	9,000	9,000	354
当期純利益	5,523	4,600	4,600	923

* 配当は前年比 2円増の 6円を予定

工業用マシンは増加となるが、他セグメントは減少

単位 :百万円

	04年度実績	05年度通期予想	前年比増減
工業用マシン	62,343	65,000	2,657
産業機器	22,568	21,500	1,068
家庭用マシン	12,545	11,500	1,045
電子・精密機器	14,712	14,000	712
その他	15,779	13,000	2,779
売上高合計	127,949	125,000	2,947

工業用ミシンの増加で他セグメントをカバー

単位 :百万円

	04年度実績	05年度通期予想	前年比増減
工業用マシン	6,394	8,500	2,106
産業機器	1,096	1,000	96
家庭用マシン	665	200	465
電子・精密機器	1,734	1,500	234
その他 *	551	200	751
営業利益合計	10,441	11,000	560

* 消去を含む

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

JUK 株式会社

お問合せ先：総合企画部 担当 そうがわ 寒川

TEL 03-3480-1742 FAX 03-3480-9734

ホームページURL：<http://www.juki.co.jp/>